

馬は、古来より祭祀や軍事のみならず、権力や交易とも深く 結びついた家畜であり、馬の飼育そのものが国家の基幹事業 のひとつでした。中国の古典籍を紐解くと、当時の歴代王朝が 馬匹生産体制を組織していたことがわかります。しかし、彼ら がどのように馬を飼育していたのかは、いまだよくわかって おりません。

近年、遺跡出土の動物骨を分析対象とする動物考古学の研究 が進展し、馬骨の分析を通じて当時の飼育技術について具体 的に語ることが出来るようになってきました。本講演では、中 国において馬の考古学を切り拓いてきた菊地大樹氏に古代馬 研究の最前線についてお話しいただきます。



開催日時:2022年2月5日(土) 13:00~14:30 オンライン開催 下記の URL から Zoom ウェビナー に参加してください。

https://zoom.us/j/94417389485

(ウェビナーID: 944 1738 9485)

登録や申込みは不要で、どなたでもご覧になれます。

Zoom ウェビナーのご利用が初めての方は 🔳 🚾 🔳 当センターの HP に詳細を掲載しています。 🕻 ご覧ください。



【講師紹介】 菊地大樹氏 中国、蘭州大学歴史文化学院考古学 及博物館学研究所教授。1976年生。京都大学大学院人間・環境

学研究科博士課程修了。博士(人間·環境学)。 主要業績:『馬が語る古代東アジア世界史』(汲 古書院 2018年)、『馬の考古学』(雄山閣、 2019年)、『秦の淵源-秦文化研究の最前線 - 』(外為印刷、2021年)など



中国で遺跡出土馬骨の分析する菊地氏

愛媛大学アジア古代産業考古学研究センター

〒790-8577 松山市文京町 3 番 HP: http://www.ccr.ehime-u.ac.jp/aic/

Email: kotetsuAIC@gmail.com